

## 極性化合物の 分析信頼性を向上



Agilent  
CrossLab  
From Insight to Outcome

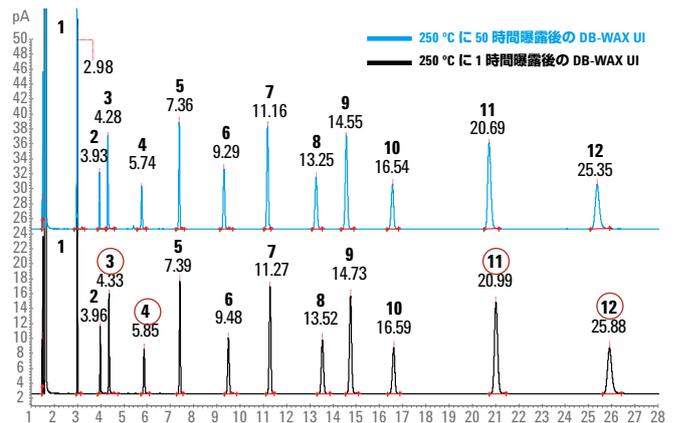
### Agilent J&W DB-WAX ウルトライナート GC カラム

活性化合物の分析において、フローパスにおける吸着は分析結果の信頼性に大きく影響を与えます。疑わしい結果によって分析の繰り返しや確認が必要になれば、リソースが無駄にされ、生産性が低下し、収益性が損なわれます。得られた結果が信頼できないものであれば、日々口にする食品や身の回りの製品の品質にも深刻な影響を及ぼすおそれがあります。

#### 新しい Agilent J&W DB-WAX ウルトライナート GC カラムが極性化合物の分析に伴う不安を取り除きます。

DB-WAX ウルトライナート (UI) GC カラムは、きわめて優れた不活性度を備えており、従来の WAX カラムよりも信頼性の高いピーク形状と優れた耐久性を実現します。革新的な DB-WAX UI GC カラムにより、次の利点もたらされます。

- **トラブルシューティングや再分析の必要性を低減:** 優れたピーク形状と再現性、より低い検出下限、より安定したリテンションタイムを実現します。
- **カラムのコストを節約:** 温度サイクルを繰り返しても、卓越した不活性度が長期にわたって維持されます。
- **カラムの事前適格性評価が不要:** どの DB-WAX UI GC カラムも、アジレント独自の不活性度試験により、納品時に完全な性能が確保されています。
- **メソッド変換が容易:** Agilent J&W DB-WAX GC カラムと同等の選択性を備えているため、ウルトライナートの性能へと簡単にアップグレードできます。既存の化合物ライブラリを作り直す必要はありません。



- |              |               |                |
|--------------|---------------|----------------|
| 1. 2-ノナン     | 5. ヘプタデカン     | 9. 1-ウンデカノール   |
| 2. デカナール     | 6. アニリン       | 10. ノナデカン      |
| 3. プロピオン酸    | 7. ドデカン酸メチル   | 11. 2-エチルヘキサン酸 |
| 4. エチレングリコール | 8. 2-クロロフェノール | 12. エチルマルトール   |

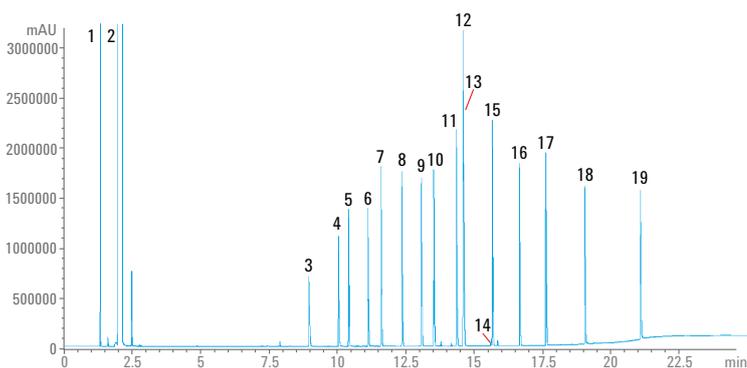
#### 250 °C に 50 時間曝露した後も卓越した不活性度を維持:

きわめて分析困難な極性化合物に対して一貫した不活性度を確保するため、この DB-WAX ウルトライナート GC テスト混合物には、デカナール、プロピオン酸、2-エチルヘキサン酸、エチルマルトールなどの化合物が含まれています。

## 酸性化合物の優れたピーク形状

- 個別の FFAP カラムでの分析が不要
- DB-WAX UI カラムに標準化することで、より幅広いアプリケーションに対応
- DB-WAX と同等の選択性: 最小限のバリデーションでウルトライナートカラムへアップグレード — DB-WAX の選択性に基づく既存の化合物ライブラリの変更は不要

DB-WAX UI カラムによる遊離脂肪酸混合物の分析



DB-WAX UI カラム: 遊離脂肪酸の混合物に対して優れたピーク形状を実現

### ピーク同定:

- |              |             |                |             |
|--------------|-------------|----------------|-------------|
| 1. メタン       | 6. 酪酸       | 11. 4-メチルヘキサン酸 | 16. ノナン酸    |
| 2. アセトン (溶媒) | 7. インジ草酸    | 12. 2-エチルヘキサン酸 | 17. デカン酸    |
| 3. 酢酸        | 8. 吉草酸      | 13. ヘプタン酸      | 18. ウンデシレン酸 |
| 4. プロピオン酸    | 9. 4-メチル吉草酸 | 14. ビルビン酸      | 19. ミリスチン酸  |
| 5. イン酪酸      | 10. ヘキサン酸   | 15. オクタン酸      | (テトラデカン酸)   |



### DB-WAX ウルトライナート GC カラム: Agilent イナートフローパスソリューション

Agilent イナートフローパスソリューションは、GC および GC/MS の流路を構成するあらゆる段階で活性を最小限に抑えます。これにより、システムの性能を高め、より大きな成果を引き出し、より多くのサンプルを分析できるようになります。予定外のメンテナンスや再キャリブレーションも不要になります。もう GC 分析でわずかな化合物も見逃すことはありません。

### 製品情報

内径 (mm)	長さ (m)	膜厚 (μm)	部品番号
DB-WAX ウルトライナート			
0.10	10	0.10	127-7012UI
0.18	20	0.18	121-7022UI
		0.30	121-7023UI
		0.20	128-7022UI
0.25	15	0.25	122-7012UI
		0.25	122-7032UI
		0.50	122-7033UI
		0.25	122-7062UI
		0.50	122-7063UI
0.32	15	0.25	123-7012UI
		0.25	123-7032UI
		0.50	123-7033UI
	60	0.25	123-7062UI
		0.50	123-7063UI
		0.53	15
30	0.25	125-7031UI	
	0.50	125-7037UI	
60	1.00	125-7032UI	
	1.00	125-7062UI	

ホームページ:

[www.agilent.com/chem/jp](http://www.agilent.com/chem/jp)

カスタムコンタクトセンタ:

**0120-477-111**

アジレントの製品は、研究目的でのみ使用できます。  
診断目的では使用できません。  
本資料に記載の情報、説明、製品使用等は  
予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社  
© Agilent Technologies, Inc. 2016-2019  
Published in Japan, April 1, 2019  
5991-6701JAJP